

トヨコ通信

2010年12月

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanba1@sasada-toyoko.jp

発行：日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日：2010年12月1日 第100号
連絡先：大垣市室本町5-8
日本共産党大垣市後援会
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部内資料



トヨコ通信100号!

3期目挑戦に向け、市民の立場を貫きます



皆さんに愛読していただきましたトヨコ通信は今回の12月号で100号となります。丁度、8年前にトヨコ通信を始めました。市議員選挙に立候補することを決意して1年間、議会傍聴を行ってきました。「何と緊張感のない議会か!」というのが率直な感想でした。やはり市民の目が議会や市政に向いていないとダメだと思い、市政報告「トヨコ通信」を出すことにしました。議会には様々な情報が出されます。その中で、市民にとって何が大切か、私なりに選択をしてトヨコ通信に載せてきました。その中から、少しでも市民の声が上がれば、議会や市政に市民の声を届けることができ、現にいくつかの変化を生み出してきたと思っています。

来年、市議会選挙が行われます。まだまだやらなければならない課題がいっぱいあり、3期目に挑戦することになりました。皆様のご支援よろしく申し上げます。

12月議会始まる

12月議会は11月29日(月)から12月14日(火)までの16日間開かれます。議案は、補正予算5件、条例10件、請負契約3件、人事1件、決算1件、など29件です。条例案では、有料化を決める「自転車等駐車場条例案」が出されています。

TPPへの参加に反対する請願 出される

12月議会には、私が紹介議員となった意見書採択の請願が3件出ました。

①70歳から74歳の窓口負担引き上げ方針の撤回を求める意見書採択の請願について
(請願者：西濃社会保障推進協議会、紹介議員：笹田トヨコ)

②米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

(請願者：農民運動岐阜県連合会、紹介議員：笹田トヨコ)

③「環太平洋戦略的経済連携協定」(TPP)への参加に反対する請願

(請願者：大垣市革新懇話会、紹介議員：笹田トヨコ)
尚、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加反対に関する意見書採択を求める請願が、西美濃農業協同組合からも出ています。(紹介議員：林新太郎、高橋滋)

12月議会の日程

11月29日(月)	10:00	本会議・提案説明
12月6日(月)	10:00	本会議・一般質問
12月8日(水)	10:00	決算委員会
12月9日(木)	10:00	子育て支援日本一対策委員会
	13:00	市民病院に関する委員会
12月10日(金)	10:00	建設環境委員会
	13:00	経済産業委員会
12月13日(月)	10:00	文教厚生委員会
	13:00	企画総務委員会
12月14日(火)	10:00	本会議

トヨ子通信100号記念企画《1部》

11月23日、ソフトピアジャパンでトヨ子通信100号記念企画を開催しました。約230人が出席。私は「トヨ子通信で見る8年間」と題して、市政報告を行いました。4年前、高齢者医療制度の改悪から「垣老」守れの運動が生まれました。またリーマンショックを境に派遣切りが横行、貧困問題も大きな問題になっています。この4年間は、小泉構造改革に象徴される新自由主義政策が直接市民生活まで深刻な影響を及ぼし、自治体としても対処せざるを得ない状態になっています。主に、4年間の市政とこれからの課題について話しました。



オープニング はだっこのラッセーラ



パワーポイントを使って皆さんに報告

この地域の子どもの貧困の実態は

比較的豊かといわれる大垣市ですが、「子どもの貧困」についてみてみると、子どもの生活や命を脅かす実態が増えています。「子どもの貧困」はスタートラインから格差ができており、貧困の再生産をを起こしてしまいます。子の貧困の連鎖を断ち切るために、国や自治体は全力を挙げなければなりません。ところが、「こども・子育て新システム」などといった、公的保育制度を崩して子育てや保育を市場原理に任せようとする動きが強まっています。



大垣市の就学援助件数



西濃地域における児童虐待件数

感謝の気持ちをごこめて



立ち見も出ました



麻生首相が「アンボ君」を語る



ヒロさん、ありがとう

松元ヒロソロライブ《2部》

歴代首相を演じてきたヒロさん、最近は 首相が1年ごとに変わるのでやりづらいと。鳩山首相によろよくなれたら菅さんに代わってしまったと笑わせます。

「アンボ君」では、サンフランシスコ条約が華やかに調印されたその日の午後夕方、こっそりと生まれたのが安保条約。日本の代表団5人のうち2人は「不平等条約だ」と調印を拒否。結局ただ一人署名をしたのは当時の首相吉田茂。孫である麻生首相を演じて語る、面白くて勉強になる「アンボ君」でした。

アンボ君は言います。「安保条約はどちらかの政府が「やめます」といえば、1年以内にアメリカ軍は日本から出ていかなければならないんだよ。安保条約の10条にちゃんと書いてあるよ」